

光が丘第六保育園視察

- ・平成22年7月23日（金）午前10時～11時30分  
出席者：有識者1名、区立保育園園長経験者1名、  
光が丘第六保育園長、副園長、事務局
- ・平成22年7月27日（火）午前10時～11時30分  
出席者：学識経験者1名、有識者1名  
光が丘第六保育園園長、副園長、事務局
- ・平成22年7月28日（水）午前9時～10時  
出席者：保育課長  
光が丘第六保育園園長、副園長
- ・平成22年7月29日（木）午前10時～11時30分  
出席者：学識経験者1名、児童青少年部長  
光が丘第六保育園園長、副園長、事務局

1 園長より、「保育園のしおり」をもとに光が丘第六保育園の概要説明

理念・保育方針・保育目標

保育時間・定員・職員配置

光が丘第六保育園の保育

- ・子どもが主役の行事作り
- ・規則正しい生活リズム
- ・家庭支援（保護者会・保育参観・保育参加・グループ面談。目的・内容に合わせて設定）
- ・リズム遊び（3～5歳児を対象に週1回「パレードの日」として、目的を持ってリズム遊びを取り入れる。0～2歳児は年齢にあわせてリズム遊びを行う）
- ・健康増進（看護師が中心になって指導。保護者からの受診相談）
- ・統合保育（3名の障害児を受け入れ。子育て支援センター・保健所・総合福祉事務所との連携）
- ・食育（5歳児は区民農園でジャガイモを栽培）
- ・安全・衛生管理（引越し後、警察・消防の指導を元に訓練を実施）
- ・すあし保育（扁平足・土踏まずの形成）
- ・エコ活動（用務職員が「もったいないばあさん」に扮し、エコ活動の中心となる。5歳児によるごみ拾い散歩、牛乳パックの解体）
- ・苦情対応（駐車の問題）
- ・地域支援（遊びの場の提供、ふれあい給食、子育て相談等。体験学習等の次世代育成）
- ・小学校との連携（校長との懇談、見学会等）
- ・プライバシーの保護（保護者の了解をもとに写真や名前を掲示）

2 園内視察

3 選定委員からの主な質問と回答

- Q 自然とのかかわりを大切にしているということだが具体的にはどのような取り組みを行っているか。

- A 光が丘地域には公園が18か所あり、自然に恵まれている。散歩の際に子どもと保育士が、一緒に発見し感動することを大切にしている。
- Q 散歩の際にこころがけることは何か。
- A 安全がポイントとなる。人数確認を適時行う。事務所との連携も大切にし、行き先の変更など、確実に連絡をとるようにしている。
- Q 地域のボランティアの受け入れはあるか。
- A 「マカロニバス」と称する絵本の読み聞かせや、お手玉などがある。
- Q 手作りのおもちゃはあるか。
- A 0歳児では、布の絵本やポットンおとし、人形などがある。
- Q 園で野菜を栽培しているか。
- A ゴーヤ、オクラ、レタス、ピーマン、ジャガイモなどを栽培している。収穫した野菜は、調理して給食に出してもらっている。ジャガイモは、5歳児が3個ずつ家庭に持ち帰り各家庭で調理し楽しんでもらった。
- Q アレルギー除去食の対応が必要な子どもはいるか。
- A 6人いる。アレルゲンは卵など。
- Q おやつは手作りか。
- A ほとんど園内で手作りしている。
- Q 男性保育士はいるか。
- A 1歳児クラスに1名いる。他に臨時職員2名いる。
- Q 「ひかりろく通信」の意図は何か。
- A 光が丘第六保育園は、民間委託や園舎の大規模改修と子どもを取り巻く環境が大きく変化する。日々の保育を大切にし、子どもを安心して保育していくためには、現在の状況をリアルタイムに保護者に伝えていくことが重要と考えて6月から発行している。
- Q 委託後にぜひ引き継いでいきたいものは何か。
- A 保護者や子どもにとって、保育園がホッとできる場でありたいという気持ちで、職員全員がそれぞれの立場で日々保育に取り組んでいる。職員はいつも、子どもたちの目線に立ち、一人ひとりに向かい合い、子どもたちを受け入れることに努めている。保護者に対しても同様である。  
光が丘第六保育園は、大きな家族です。  
社会に出て、「生きる力」「命」を大切にできる人であって欲しい。そのために必要な力の基盤をこの乳幼児期に培っていくのだと思います。  
これらの光が丘第六保育園の職員の思いや保育への姿勢をぜひ引き継いでいただきたい。